

別 表

1. 鉄骨造（柱用）

	項目・記号	内容	単位
諸 条 件	柱の符号	—	—
	柱の位置	—	—
	加力方向	—	—
	検定部位	—	—
	柱の断面	—	ミリメートル
	鋼材の種類及び品質	—	—
	階高	—	ミリメートル
	内法高さ	—	ミリメートル
	座屈長さ	—	ミリメートル
	細長比	—	—
	A	断面積	平方ミリメートル
	Aw	せん断応力度算定用断面積	平方ミリメートル
	Z	断面係数	立方ミリメートル
応 力	N_L	長期軸力	キロニュートン
	M_L	長期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q_L	長期せん断力	キロニュートン
	N_S	短期軸力（長期軸力を含む。）	キロニュートン
	M_S	短期曲げモーメント（長期曲げモーメントを含む。）	キロニュートンメートル
	Q_S	短期せん断力（長期せん断力を含む。）	キロニュートン
	σ_{cL}	長期圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{cS}	短期圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bL}	長期曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bS}	短期曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	τ_L	長期せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
τ_S	短期せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン	
軸	f_c	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュ

・ 曲 げ ・ せん 断			ートン
	f_b	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_s	長期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	$\sigma_{cL} / f_c + \sigma_{bL} / f_b$	—	—
	$\sigma_{cS} / (f_c \times 1.5) + \sigma_{bS} / (f_b \times 1.5)$	—	—
	τ_L / f_s	—	—
	$\tau_S / (f_s \times 1.5)$	—	—
	判定結果	—	—
柱 は り 接 合 部	J_{DS}	柱梁接合部の短期設計用曲げモーメント	キロニュートンメートル
	J_{AS}	柱梁接合部の長期許容用曲げモーメント	キロニュートンメートル
	J_{DS} / J_{AS}	—	—
	判定結果	—	—

2. 鉄骨造（はり用）

	項目・記号	内容	単位
諸 条 件	はりの符号	—	—
	はりの位置	—	—
	はりの断面	—	ミリメートル
	鋼材の種類及び品質（フランジ、ウェブ）	—	—
	部材の長さ	—	ミリメートル
	内法長さ	—	ミリメートル
	座屈長さ	—	ミリメートル
	細長比	—	—
	A	断面積	平方ミリメートル
	Aw	せん断応力度算定用断面積	平方ミリメートル
	Z	断面係数	立方ミリメートル
応 力	M_L	長期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M_S	短期曲げモーメント（長期曲げモーメ	キロニュートンメートル

		ントを含む。)	
	Q_L	長期せん断力	キロニュートン
	Q_S	短期せん断力（長期せん断力を含む。）	キロニュートン
	σ_{bL}	長期曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bS}	短期曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	τ_L	長期せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	τ_S	短期せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
許 容 応 力 度	f_b	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_s	長期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bL} / f_b	—	—
	$\sigma_{bS} / (f_b \times 1.5)$	—	—
	τ_L / f_s	—	—
	$\tau_S / (f_s \times 1.5)$	—	—
	判定結果	—	—

3. 鉄骨造（筋かい用）

	項目・記号	内容	単位
諸 条 件	斜材の符号	—	—
	斜材の位置	—	—
	加力方向	—	—
	斜材の断面	—	ミリメートル
	鋼材の種類及び品質	—	—
	座屈長さ	—	ミリメートル
	細長比	—	—
	A	断面積	平方ミリメートル
応 力	N_L	長期軸力	キロニュートン
	N_{cS}	短期圧縮力（長期軸力を含む。）	キロニュートン
	N_{tS}	短期引張力（長期軸力を含む。）	キロニュートン
	σ_{cS}	短期圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュ

			ートン
	σ_{ts}	短期引張応力度	ー平方ミリメートルにつきニュ ートン
許 容 応 力 度	f_c	長期許容圧縮応力度	ー平方ミリメートルにつきニュ ートン
	f_t	長期許容引張応力度	ー平方ミリメートルにつきニュ ートン
	$\sigma_{cs} / (f_c \times 1.5)$	ー	ー
	$\sigma_{ts} / (f_t \times 1.5)$	ー	ー
	判定結果	ー	ー

4. 鉄筋コンクリート造（柱用）

	項目・記号	内容	単位
諸 条 件	柱の符号	ー	ー
	柱の位置	ー	ー
	加力方向	ー	ー
	検定位置	ー	ー
	コンクリートの種類及び設計基準強度	ー	ー
	主筋の種類及び品質	ー	ー
	主筋の本数及び径	ー	ー
	帯筋の種類及び品質	ー	ー
	帯筋の本数及び径及び間隔	ー	ー
	h	階高	ミリメートル
	h_0	内法高さ	ミリメートル
	B	柱断面幅	ミリメートル
	D	柱断面せい	ミリメートル
	d	柱の有効せい	ミリメートル
j	応力中心距離 (7/8d)	ミリメートル	
応 力	N_L	長期軸力	キロニュートン
	M_L	長期曲げモーメント	キロニュートンメートル

	Q_L	長期せん断力	キロニュートン
	N_E	地震時軸力	キロニュートン
	M_E	地震時曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q_E	地震時せん断力	キロニュートン
軸 ・ 曲 げ	N_{S1}	短期軸力（正加力）	キロニュートン
	N_{S2}	短期軸力（負加力）	キロニュートン
	M_{S1}	短期曲げモーメント（正加力）	キロニュートンメートル
	M_{S2}	短期曲げモーメント（負加力）	キロニュートンメートル
	M_Y	降伏曲げモーメント	キロニュートンメートル
	ΣM_Y	降伏曲げモーメントの絶対値の和	キロニュートンメートル
	Q_D	短期設計用せん断力	キロニュートン
	M_{AL}	長期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M_{AS1}	短期許容曲げモーメント（正加力）	キロニュートンメートル
	M_{AS2}	短期許容曲げモーメント（負加力）	キロニュートンメートル
	M_L / M_{AL}	—	—
	M_{S1} / M_{AS1}	—	—
	M_{S2} / M_{AS2}	—	—
	判定結果	—	—
せん 断	Q_{AL}	長期許容せん断力	キロニュートン
	Q_{AS}	短期許容せん断力	キロニュートン
	Q_L / Q_{AL}	—	—
	Q_D / Q_{AS}	—	—
	判定結果	—	—
付 着	τ_a	付着応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	F_a	許容付着応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	τ_a / F_a	—	—
	判定結果	—	—
柱 は り 接 合 部	JQ_{DS}	柱梁接合部の短期設計用せん断力	キロニュートン
	JQ_{AS}	柱梁接合部の短期許容せん断力	キロニュートン
	JQ_{DS} / JQ_{AS}	—	—
	判定結果	—	—

5. 鉄筋コンクリート造（はり用）

	項目・記号	内容	単位
--	-------	----	----

諸 条 件	はりの符号	—	—
	はりの位置	—	—
	検定位置	—	—
	コンクリートの種類及び設計基準強度	—	—
	主筋の種類及び品質	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	あばら筋の種類及び品質	—	—
	あばら筋の本数及び径及び間隔	—	—
	l	部材の長さ	ミリメートル
	l ₀	部材の内法長さ	ミリメートル
	B	はり断面幅	ミリメートル
	D	はり断面せい	ミリメートル
	d	はりの有効せい	ミリメートル
	b	床版の幅	ミリメートル
	j	応力中心距離（7/8d）	ミリメートル
応 力	M _L	長期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q _L	長期せん断力	キロニュートン
	M _E	地震時曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q _E	地震時せん断力	キロニュートン
	M _S （上端・下端）	短期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M _Y （上端・下端）	降伏曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q _D	短期設計用せん断力	キロニュートン
曲 げ	M _{AL}	長期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M _{AS} （上端・下端）	短期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル

	M_L / M_{AL}	—	—
	M_S / M_{AS}	—	—
	判定結果	—	—
せん断	Q_{AL}	長期許容せん断力	キロニュートン
	Q_{AS}	短期許容せん断力	キロニュートン
	Q_L / Q_{AL}	—	—
	Q_D / Q_{AS}	—	—
	判定結果	—	—
付着	τ_a	付着応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	fa	許容付着応力度	—平方ミリメートルにつきニュートン
	τ_a / fa	—	—
	判定結果	—	—

6. 鉄筋コンクリート造（耐力壁用）

	項目・記号	内容	単位
諸条件	壁の符号	—	—
	壁の位置	—	—
	コンクリートの種類及び設計基準強度	—	—
	t	壁断面の厚さ	ミリメートル
	L_0	開口部の長さ	ミリメートル
	H_0	開口部の高さ	ミリメートル
	L'	内法長さ	ミリメートル
	H'	内法高さ	ミリメートル
	主筋の種類及び品質	—	—
	縦筋の径及び間隔	—	—
	横筋の径及び間隔	—	—
	開口補強筋の本数及び径（縦筋、横筋、斜め筋）	—	—
	応	Q_L	長期せん断力

力	Q_S	短期せん断力	キロニュートン
せん断	Q_{AL}	長期許容水平せん断力	キロニュートン
	Q_W	許容水平せん断力	キロニュートン
	ΣQ_C	周辺の柱が負担できる許容せん断力	キロニュートン
	Q_{AS}	短期許容せん断力	キロニュートン
	Q_S / Q_{AS}	—	—
	判定結果	—	—

7. 鉄骨鉄筋コンクリート造（柱用）

	項目・記号	内容	単位
諸条件	柱の符号	—	—
	柱の位置	—	—
	加力方向	—	—
	検定部位	—	—
	コンクリートの種類及び設計基準強度	—	—
	主筋の種類及び品質	—	—
	主筋の本数及び径	—	—
	帯筋の種類及び品質	—	—
	帯筋の本数及び径	—	—
	鉄骨の断面	—	ミリメートル
	鉄骨の種類及び品質（フランジ・ウェブ）	—	—
	h	階高	ミリメートル
	h0	内法高さ	ミリメートル
	B	柱断面幅	ミリメートル
	D	柱断面せい	ミリメートル
	d	柱の有効せい	ミリメートル
	j	応力中心距離（7/8d）	ミリメートル
応力	N_L	長期軸力	キロニュートン
	M_L	長期曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q_L	長期せん断力	キロニュートン

	N_E	地震時軸力	キロニュートン
	M_E	地震時曲げモーメント	キロニュートンメートル
	Q_E	地震時せん断力	キロニュートン
	N_{S1}	短期軸力（正加力）	キロニュートン
	N_{S2}	短期軸力（負加力）	キロニュートン
	M_{S1}	短期曲げモーメント（正加力）	キロニュートンメートル
	M_{S2}	短期曲げモーメント（負加力）	キロニュートンメートル
	cM_Y	降伏曲げモーメント	キロニュートンメートル
	ΣcM_Y	降伏曲げモーメントの絶対値の和	キロニュートンメートル
	Q_D	短期設計用せん断力	キロニュートン
鉄骨部分	sN_L	鉄骨部分の長期軸力	キロニュートン
	sM_{DL}	鉄骨部分の長期設計用曲げモーメント	キロニュートンメートル
	sN_S	鉄骨部分の短期軸力	キロニュートン
	sM_{DS}	鉄骨部分の短期設計用曲げモーメント	キロニュートンメートル
	sQ_{DS}	鉄骨部分の短期設計用せん断力	キロニュートン
	sQ_{AS}	鉄骨部分の短期許容せん断力	キロニュートン
	判定結果	—	—
鉄筋コンクリート部分	rN_L	鉄筋コンクリート部分の長期軸力	キロニュートン
	rM_{DL}	鉄筋コンクリート部分の長期設計用曲げモーメント	キロニュートンメートル
	rN_S	鉄筋コンクリート部分の短期軸力	キロニュートン
	rM_{DS}	鉄筋コンクリート部分の短期設計用曲げモーメント	キロニュートンメートル
	rQ_{DS}	鉄筋コンクリート部分の短期設計用せん断力	キロニュートン
	rQ_{AS}	鉄筋コンクリート部分の短期許容せん断力	キロニュートン
	判定結果	—	—
せん断	M_{AL}	長期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M_{AS}	短期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M_L / M_{AL}	—	—
	M_S / M_{AS}	—	—
	判定結果	—	—

8. 鉄骨鉄筋コンクリート造（はり用）

	項目・記号	内容	単位
諸条	はりの符号	—	—
	はりの位置	—	—

件	検定部位	—	—
	コンクリートの種類及び設計基準強度	—	—
	主筋の種類及び品質	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	主筋の本数及び径（上端筋一段・二段）	—	—
	あばら筋の種類及び品質	—	—
	あばら筋の本数及び径及び間隔	—	—
	鉄骨の断面	—	ミリメートル
	鉄骨の種類及び品質（フランジ・ウェブ）	—	—
	L	部材の長さ	ミリメートル
	l_0	部材の内法長さ	ミリメートル
	B	はり断面幅	ミリメートル
	D	はり断面せい	ミリメートル
	d	はりの有効せい	ミリメートル
	J	応力中心距離（7/8d）	ミリメートル
	応力	M_L	長期曲げモーメント
Q_L		長期せん断力	キロニュートン
M_E		地震時曲げモーメント	キロニュートンメートル
Q_E		地震時せん断力	キロニュートン
M_S （上端・下端）		短期曲げモーメント	キロニュートンメートル
M_V （左端・右端）		降伏曲げモーメント	キロニュートンメートル
Q_D		短期設計用せん断力	キロニュートン
鉄骨	M_{AL}	鉄骨部分の長期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	M_{AS}	鉄骨部分の短期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル

部 分	${}_S Q_{DL}$	鉄骨部分の長期設計用せん断力	キロニュートン
	${}_S Q_{DS}$	鉄骨部分の短期設計用せん断力	キロニュートン
	${}_S Q_{AL}$	鉄骨部分の長期許容せん断力	キロニュートン
	${}_S Q_{AS}$	鉄骨部分の短期許容せん断力	キロニュートン
	判定結果	—	—
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 部 分	${}_R M_{AL}$	鉄筋コンクリート部分の長期許容曲げモーメント	キロニュートンメートル
	${}_R M_{AS} \cdot U$	鉄筋コンクリート部分の短期許容曲げモーメント（上端）	キロニュートンメートル
	${}_R M_{AS} \cdot D$	鉄筋コンクリート部分の短期許容曲げモーメント（下端）	キロニュートンメートル
	${}_R M_{Y} \cdot U$	鉄筋コンクリート部分の降伏曲げモーメント（上端）	キロニュートンメートル
	${}_R M_{Y} \cdot D$	鉄筋コンクリート部分の降伏曲げモーメント（下端）	キロニュートンメートル
	${}_R Q_{DL}$	鉄筋コンクリート部分の長期設計用せん断力	キロニュートン
	${}_R Q_{DS}$	鉄筋コンクリート部分の短期設計用せん断力	キロニュートン
	${}_R Q_{AL}$	鉄筋コンクリート部分の長期許容せん断力	キロニュートン
	${}_R Q_{AS}$	鉄筋コンクリート部分の短期許容せん断力	キロニュートン
	判定結果	—	—

9. 鉄骨鉄筋コンクリート造（耐力壁用）

	項目・記号	内容	単位
諸 条 件	壁の符号	—	—
	壁の位置	—	—
	コンクリートの種類及び設計基準強度	—	—
	T	壁断面の厚さ	ミリメートル
	L_0	開口部の長さ	ミリメートル
	H_0	開口部の高さ	ミリメートル
	L'	内法長さ	ミリメートル
	H'	内法高さ	ミリメートル
	主筋の種類及	—	—

	び品質		
	縦筋の径及び間隔	—	—
	横筋の径及び間隔	—	—
	開口補強筋の本数及び径 (縦筋、横筋、斜め筋)	—	—
応力	Q_L	長期せん断力	キロニュートン
	Q_S	短期せん断力	キロニュートン
せん断耐力	Q_{AL}	長期許容水平せん断力	キロニュートン
	Q_W	許容水平せん断力	キロニュートン
	ΣQ_C	周囲の柱が負担できる許容せん断力	キロニュートン
	Q_{AS}	短期許容せん断力	キロニュートン
	Q_S / Q_{AS}	—	—
	判定結果	—	—

10. 木造（柱用）

	項目又は記号	内容	単位
諸条件	柱等の符号	—	—
	柱等の位置	—	—
	材料	—	—
	規格	—	—
	樹種	—	—
	等級	—	—
	使用部位	—	—
	F_c	基準強度（圧縮）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_t	基準強度（引張り）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_b	基準強度（曲げ）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_s	基準強度（せん断）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_{cv}	基準強度（めり込み）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{cl}	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュ

			ートン
	f_{TL}	長期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{BL}	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVL}	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CS}	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{TS}	短期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{BS}	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVS}	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
圧縮 応力 又は 座屈 荷重	P_{cL} 又は σ_{cL}	長期座屈荷重又は長期圧縮応力	ニュートンまたは一平方ミリメートルにつきニュートン
	P_{cS} 又は σ_{cS}	短期座屈荷重又は短期圧縮応力	ニュートンまたは一平方ミリメートルにつきニュートン
	圧縮応力判定結果	—	—
	λ	有効細長比	—
	f_{buS}	短期座屈許容応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{buL}	長期座屈許容応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	座屈判定結果	—	—
引張り	P_{NS}	短期引張り荷重	キロニュートン
	短期引張り荷重の計算方法	—	—
	接合部の仕様	—	—
	接合部使用材料の規格、等級	—	—
	P_{jS}	接合部の短期引張り許容耐力	キロニュートン
	接合部検定結果	—	—
曲げ	ω_S	(短期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン

	P_{bs}	短期集中荷重	キロニュートン
	σ_{bs}	短期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	応力判定結果	—	—

11. 木造（はり・小屋組等横架材用）

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	はり等の符号	—	—
	はり等の位置	—	—
	材料	—	—
	規格	—	—
	樹種	—	—
	等級	—	—
	使用部位	—	—
	F_c	基準強度（圧縮）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_t	基準強度（引張り）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_b	基準強度（曲げ）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_s	基準強度（せん断）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_{cv}	基準強度（めり込み）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CL}	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{TL}	長期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{BL}	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{SL}	長期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVL}	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CS}	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
f_{TS}	短期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン	

	f_{BS}	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{SS}	短期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVS}	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	積雪荷重の計算に当たり長期許容応力度に乗じる係数	—	—
	積雪荷重の計算に当たり短期許容応力度に乗じる係数	—	—
	E_b	曲げ弾性係数	一平方ミリメートルにつきキロニュートン
曲 げ	ω_L	(長期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン
	P_{bL}	長期集中荷重	キロニュートン
	P_{bS}	短期集中荷重	キロニュートン
	σ_{bL}	長期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bS}	短期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	Z	断面係数	立方ミリメートル
	応力判定結果	—	—
	I	断面二次モーメント	ミリメートルの四乗
	δ_b	曲げたわみ	ミリメートル
	クリープ変形増大係数	—	—
	たわみ検定結果	—	—
せん 断	ω_L	(長期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン
	P_{bL}	長期集中荷重	キロニュートン
	P_{bS}	短期集中荷重	キロニュートン
	σ_{sL}	長期せん断応力	一平方ミリメートルにつきニュートン

	σ_{sS}	短期せん断応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	応力検定結果	—	—
めり込み	σ_{cvL}	長期めり込み応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{cvS}	短期めり込み応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	許容めり込み 応力度調整係数	—	—
	応力検定結果	—	—
接合部	Q_{jL}	接合部長期せん断荷重	キロニュートン
	Q_{jS}	接合部短期せん断荷重	キロニュートン
	接合仕様	—	—
	A_o	仕口有効断面積	—
	応力検定結果	—	—

12. 木造（たる木用）

	項目又は記号	内容	単位
諸条件	たる木の符号	—	—
	たる木の位置	—	—
	材料	—	—
	規格	—	—
	樹種	—	—
	等級	—	—
	使用部位	—	—
	断面	—	平方ミリメートル
	間隔	—	ミリメートル
	F_c	基準強度（圧縮）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_t	基準強度（引張り）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_b	基準強度（曲げ）	一平方ミリメートルにつきニュートン
	F_s	基準強度（せん断）	一平方ミリメートルにつきニュートン
F_{cv}	基準強度（めり込み）	一平方ミリメートルにつきニュートン	

	f_{CL}	長期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{TL}	長期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{BL}	長期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{SL}	長期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVL}	長期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CS}	短期許容圧縮応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{TS}	短期許容引張り応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{BS}	短期許容曲げ応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{SS}	短期許容せん断応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	f_{CVS}	短期許容めり込み応力度	一平方ミリメートルにつきニュートン
	積雪荷重の計算に当たり長期許容応力度に乘じる係数	—	—
	積雪荷重の計算に当たり短期許容応力度に乘じる係数	—	—
曲 げ	ω_L	(長期) 等分布荷重	一メートルにつきキロニュートン
	P_{bL}	長期集中荷重	キロニュートン
	P_{bS}	短期集中荷重	キロニュートン
	並列材調整係数	—	—
	Z	断面係数	立方ミリメートル
	σ_{bL}	長期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン
	σ_{bS}	短期曲げ応力	一平方ミリメートルにつきニュートン

応力判定結果	—	—
--------	---	---

13. 木造（床組・小屋組用）

	項目又は記号	内容	単位
諸 条 件	床の符号	—	—
	床の位置	—	—
	軸材料の規格、樹種、等級及び使用部位	—	—
	軸材料の断面	—	平方ミリメートル
	軸材料の間隔	—	ミリメートル
	面材料の規格、樹種及び等級	—	—
	面材料の厚さ	—	ミリメートル
	面材料の寸法	—	ミリメートル
	接合仕様	—	—
	接合に使用する材料の規格、材質及び等級	—	—
せん断	Q_s	（短期）せん断力	キロニュートン
	床倍率	—	—
	Q_a	短期許容せん断耐力	キロニュートン